

令和8年度中学生・高校生エネルギー探究プレゼンテーションコンテスト
募集要領

1. 目的

経済産業省資源エネルギー庁は、中学生及び高校生が日本のエネルギー問題について、自ら問題意識を持ち・調べ・学び・わかりやすく伝えるといった探究学習を通じて、日本のエネルギー問題に対する関心と当事者意識を喚起することを目的として、中学生・高校生向けにエネルギー探究プレゼンテーションコンテストを実施します。

2. 募集概要

テーマ：

別添テーマ（エネルギー問題（4つの視点））から、日本のエネルギー問題について自ら問題意識を持ち・調べ・学び・その内容を広くわかりやすく伝えるために、様式自由（パワーポイント数枚、ポスター、イラスト、写真、動画など）でまとめてください。全国大会では、まとめた内容のプレゼンテーションを行い、最優秀チームを決定します。

応募対象者：

全国の中学生及び高校生

応募期間：

令和8年6月25日（木）～令和8年11月13日（金）

応募方法：

生徒1～3名を1チームとして、ウェブサイト「SDGs エネルギー学習推進ベースキャンプ」で公開している参加申し込みフォームより、必要事項を入力し、プレゼンテーション提案資料と企画提案届出書を添付して送信してください。

<https://energy-kyoiku.meti.go.jp/contests/purezen2026/>



書類選考方法：

応募の中から書類審査を行い、中学生・高校生それぞれ全国大会に出場するチームを決定します。審査の結果は、同ウェブサイトにて令和8年12月頃発表予定です。

書類審査：

エネルギー教育推進事業事務局内に設置する審査委員会にて審査・採点を行い、全国大会に出場する中学生 5 チーム、高校生 5 チームを決定します。

評価基準：

書類審査では、以下の観点から評価を行います。

- 日本のエネルギー問題について、「エネルギー教育の課題（4つの視点）」に基づいたテーマ設定としているか。
- 自ら選んだ日本のエネルギー問題のテーマについて、客観的な文献や資料等に基づいた根拠を用いてまとめているか。
- 自ら選んだ日本のエネルギー問題について、わかりやすい内容にまとめられているか。まとめた内容を、広く一般にわかりやすいメッセージとして表現されているか。

審査の結果はこちらにて発表：

<https://energy-kyoiku.meti.go.jp/contests/purezen2026/>



3. プレゼンテーションコンテスト（全国大会）開催概要

日時：

2027年3月6日（土）午後半日

場所：

東京都内品川駅周辺の会場を予定

出場者：

書類選考で選ばれた中学生 5 チーム、高校生 5 チーム

審査員（予定）：

松丸亮吾（令和8年度エネルギー教育推進事業アンバサダー）

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

資源エネルギー庁 長官官房総務課 調査広報室

評価基準：

以下の五つの観点から評価を行います。

- 日本のエネルギー問題について、「エネルギー教育の課題（4つの視点）」に基づいたテーマ設定としているか。
- 自ら選んだ日本のエネルギー問題のテーマについて、客観的な文献や資料等に基づいた根拠を用いてまとめているか。
- 自ら選んだ日本のエネルギー問題について、わかりやすい内容にまとめられているか。まとめた内容を、広く一般にわかりやすいメッセージとして表現されているか。
- スピーチが声量や速度、話し方に配慮して聞き手に聞き取りやすく、わかりやすいものになっているか。
- チーム内で適切に役割分担を行い、それぞれの役割に沿って的確にプレゼンできているか。

審査方法：

各チーム10分間のプレゼンテーション・質疑対応を行い、中学生の部・高校生の部それぞれにおいて、3人の審査員による採点合計が最も高いチームを、最優秀賞とします。同点の場合は、審査員の合議によって決定します。

賞：

- 最優秀チームには、賞状及び盾を授与します。
- 最優秀チームには、読売新聞オンラインで紹介します。
- 最優秀チームには、後日、資源エネルギー庁へ招待し、資源エネルギー庁職員と意見交換を行う場を提供します。
- 全国大会出場チームには、参加賞を授与します。

その他：

- 全国大会はオンライン配信を実施します（予定）。
- 全国大会の様子は、後日編集の上、経済産業省YouTubeチャンネルにて掲載します。
- 全国大会には引率者（1名）が必須です。
- 東京都内で実施する全国大会への旅費（交通費・宿泊費）は一時立て替え払いを行っていた後、事務局より精算支払いを行います。
- 応募書類等一式については審査のために利用します。なお、応募書類等一式については返却しません。

4. 募集に関する問い合わせ先

【エネルギー教育推進事業事務局】

電話番号：03-6821-8342

窓口開設時間：10:00-18:00 ※土・日・祝日・年末年始を除く

E-mail：jimukyoku@energy-kyoiku.meti.go.jp

エネルギー教育の課題【4つの視点】

A：エネルギーの安定供給の確保

【解説】エネルギー資源小国

エネルギーを大量消費しながら日本は経済発展を遂げ、豊かで快適な暮らしを享受してきた。しかし日本はエネルギー資源に乏しく、そのほとんどを海外からの輸入に依存しており、エネルギー自給率は1割程度であること、中国やインドを始めとする新興国の経済成長に伴うエネルギー需要の増加などにより、世界のエネルギー需給は逼迫してきていることを理解できるようにする。

このような状況下において、日本として、社会を持続させるために必要な量のエネルギーを経済的に見合う価格で安定的に供給するための方策を社会的、科学・技術的な観点から考察できるようにすることを旨とする。

B：地球温暖化問題とエネルギー問題

【解説】化石燃料の大量消費と二酸化炭素の排出

持続可能な社会構築にあたっての課題の一つが地球温暖化であり、その原因の一つとして温室効果ガスである二酸化炭素濃度の上昇があるといわれている。日本が排出している温室効果ガスの約9割がエネルギー起源の二酸化炭素であり、この排出抑制が温暖化対策に当たっては重要と考えられる。

この問題に向き合うにあたって、エネルギーの利用という切り口からどのような社会的、科学・技術的な方策があるか、考察できるようにすることを旨とする。

C：多様なエネルギー源とその特徴

【解説】エネルギー源のメリット・デメリット、S+3E、エネルギーミックス

現在使用されているエネルギー源には石油・天然ガス・石炭といった化石燃料、原子力・再生可能エネルギーといった非化石エネルギーがあるが、それぞれには特徴があり、たとえば輸入依存度・発電コスト・二酸化炭素排出量等の観点から、メリット・デメリットがあることを理解させる。

その上で「安全性」を大前提にエネルギーの「安定供給」「経済効率」「環境負荷低減」という3つのバランスを考慮しながら、エネルギーミックスを考える事が重要であることを理解する。

さらに将来的には科学・技術による持続可能な新しい社会システムの構築について、中・長期的な視野で考察できるようにすることを旨とする。

D：省エネルギーに向けた取組

【解説】省エネの更なる推進

日本は石油ショック以降、省エネの進展や産業構造の変化などにより産業部門ではエネルギー消費はほとんど増えていないが、家庭やオフィスの民生部門や、運輸部門ではエネルギー消費が大きく増加していること、日本のみならず、世界規模でエネルギー消費は急激に増加していること

を認識させ、持続可能な社会の構築のためには、エネルギーの消費を改善していくことが必要であることを理解させる。

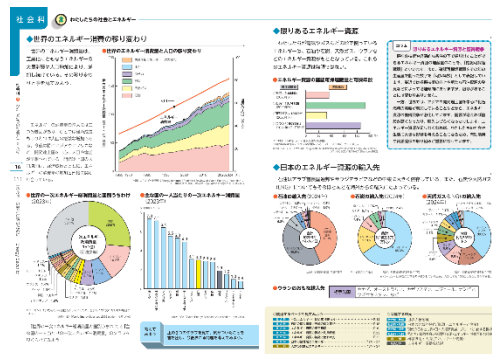
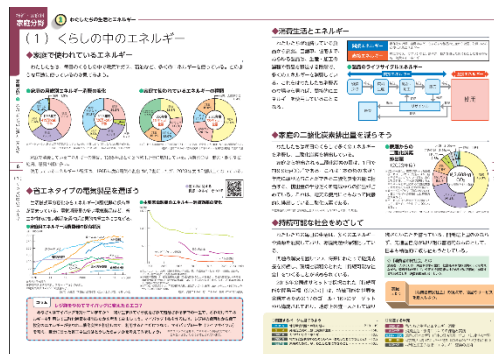
その上で、我が国の、そして世界のエネルギー消費を改善していくために、私たち一人一人が暮らしの中で何を行うべきか、また既存技術や革新技术を社会としてどのように活用すべきか、そして日本は世界に対してどのような貢献ができるかを考察し、行動できるようになることを目指す。

【参考】中学生向け副教材の無料配布について

「経済産業省資源エネルギー庁 SDGs エネルギー学習推進ベースキャンプ」では、学習指導要領に基づいた副教材及び授業展開例を無料で配布しています。ご希望の場合は、下記フォームよりお申し込みください。

「未来を考える・創る SDGs エネルギー学習推進ベースキャンプ」

URL : <https://energy-kyoiku.meti.go.jp/teaching-materials/>



個人情報と肖像権の取扱い

本大会の参加申込等を通じて取得した個人情報（氏名、学校名、学年、引率者の連絡先）及び肖像権の取扱いに関しては、以下のとおりに対処させていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 参加申込に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会運営に必要な各学校との連絡や、表彰状を作成する際に利用します。
- (2) 大会プログラム冊子に掲載されます。
- (3) 大会内での告知・アナウンス等により紹介されることがあります。
- (4) 大会関連の Web サイト（ホームページ・印刷物等）に掲載されることがあります。
- (5) プレゼンテーション資料（パワーポイント数枚、ポスター、イラスト、写真、動画など）は、Web サイトに公開させていただく場合があります。

2. 大会結果（記録）等の取扱い

- (1) 「SDGs エネルギー学習推進ベースキャンプ」サイトにて公開されます。
- (2) 報道機関等で、新聞・雑誌又は関連 Web サイト等で公開されることがあります。

3. 全国大会実施中の撮影・録画等の取扱い

- (1) 報道機関等の各団体を通じて、大会の映像や写真が、中継・録画放映・インターネット配信、その他の媒体等で紹介されることがあります。
- (2) 主催者が大会終了後に映像資料として編集し、DVD などで関係者に配布することや Web サイト（ホームページ等）、YouTube に掲載することがあります。
- (3) 主催者が認めた大会出場者の関係者やオンライン視聴者が、大会の様態を撮影することがあります。

4. 事務局としての対応

- (1) 本人の承諾なく上記利用目的以外に、取得した個人情報を使用することはありません。
- (2) 参加申込をもって、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。もし、個人の映像および画像の利用をご承諾いただけない場合は、事務局までご連絡ください。
- (3) 個人情報、肖像の掲載または公開に関するご質問は、事務局までご連絡ください。